

単元名 店ではたらく人びとの仕事

配当時間 12時間

- 単元の目標 (1) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解するとともに、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることができる。
- (2) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することができる。
- (3) 地域に見られる販売の仕事の工夫について意欲的に追究するとともに、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高める販売店の特色について考えたり、これまでの学習を振り返り、学習したことを確かめたりする。

標準的な展開例

03030201_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 地域にある商店、スーパーマーケットの利用の仕方について話し合い、単元の学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> よく利用する地域にある店について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストア スーパーマーケット 白地図に店の場所を書き込み、考えたことや気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の店がある 家の人はどこで買い物をしているのだろう 買い物調べをする計画を立てる。 買い物調べの結果を基に、学級全体の買い物地図やシールを使ったグラフを作成して話し合い、学習問題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 食料品が一番多い スーパーマーケットで買い物をしている人が多い <p>★スーパーマーケットには、どんなひみつがあるのだろう</p> <p>3 スーパーマーケットの秘密を予想し、学習計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットのよさについて予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 品物が種類ごとに分けられていて選びやすい 大きい看板があつて、品物がどこにあるか分かりやすい 予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> 調べる内容…多くの人がその店に行く理由、店がしている工夫、店の中の様子、店で働いている人の仕事 調べる方法…地域の店の見学・調査、家の人や店の人への聞き取り調査 表現の仕方…ポスター <p>4～5 グループごとに見学の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの見学計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> 見て調べること、聞いて調べること 聞き取り調査の仕方やまとめ方 持ち物や役割分担、注意事項の確認 店の人へのインタビューの内容を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 客が買い物しやすいようにしている工夫 働く人が気を付けていること 店の人へのインタビューの仕方を練習する。 <p>6～8 グループの計画に従って、店を見学・調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 店の様子や働く人の様子などを観察する。 店の人や買い物客にインタビューを行う。 店長に、店側の願いやそのための工夫や努力について聞き取り調査をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【資料】地域にある商店やスーパーマーケットの写真、副読本、白地図 最初に、教師自身が買い物をした経験について話をするすることで、発言しやすくする。 なぜその店をよく利用するのかを考えさせ、学習問題へとつなげる。 店を「スーパーマーケット」「コンビニエンスストア」「専門店」などに分類して白地図に書き込ませる。 買い物調べカードの記入の仕方と調査期間を説明する。 学年通信などを利用し、保護者へ協力を依頼しておくとうい。 前時で使用した白地図に、品物の種類ごとに決めたシールを貼り、結果を視覚的に確かめさせる。 ポスターについてのイメージをもたせる。 【評】スーパーマーケットの利用状況について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 買い物調べの結果やスーパーマーケットの挿絵から気付いたことや予想したことを書かせる。 学習計画書を用意し、調べる内容や方法、手順などを記入させるようにする。 秘密をポスターにまとめる。 見学の観点が明確になるように配慮し、学習計画書に記入させる。 調べ方や気を付けることは、全グループが共通の事項になるので、学級全体で話し合わせる。 見て調べることや聞いて調べることはグループごとに違うので、グループごとに話し合わせる。 見学のマナーや注意することを確認しておく 店の見学、撮影については事前に必ず許可を取る。 インタビュー内容については、必ず店へ事前に知らせる。 教科書を活用して、インタビューの仕方を確認させる。 いくつかの店に行く場合は、グループで分担して分かれて行ったり、家庭学習として保護者と行き、取材したりするなどの工夫をし、店に迷惑をかけないように配慮する。 店長に依頼して、店の人の工夫や思い、願いについて話してもらおうようにするとよい。 商品の品質管理や売り場での並べ方、宣伝の工夫、商品の入荷先について、話してもらえ

○商品の仕入れ先を調べ、白地図にまとめる。

9 スーパーマーケットのよさを話し合う。

○見学・調査をして考えたことを基に、なぜ多くの客がスーパーマーケットに買い物に来るのかを話し合う。

○スーパーマーケットは、暮らしにどのように役立っているのかを考え、話し合う。

- ・産地まで買い物に行かなくてもよい
- ・コンビニエンスストアや専門店もスーパーマーケットと同じ働きをしている

10～11 見学・調査したことや話し合ったことを基に、ポスターを作る。

○キャッチコピーを考える。

- ・「安全！安心！おいしい！スーパーマーケット」
- ・「みんなが買い物しやすいスーパーマーケット」

12 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。

○作成したポスターを基に、スーパーマーケットがたくさんのお客さんに来てもらえるようにするための秘密について話し合う。

- ・種類ごとに品物をまとめておいてあることは、お客さんが買い物をしやすいようにする工夫だと思う
- ・作りたてのものが食べられるように、惣菜を作る時間を考えていることは、お客さんの願いを生かした工夫だと思う
- ・たくさんのお客さんが一度にたくさん来ても大丈夫なように、駐車場を広くしていると思う

るように依頼する。

【評】見学・調査した内容を記録する活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・必要に応じて、見学のお礼の手紙を書かせる

・他地域とのつながりを視覚的に捉えることができるように、商品の仕入れ先を地図帳などを使って、都道府県や外国の名称と位置を確かめ、日本や世界の白地図に記入させる。

【評】見学・調査したり、地図などの資料で調べたりしたことを白地図にまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・品質管理、安全性、適正な価格、エコを意識した取組、他地域とのつながりについても考えさせる。

【評】店は、客の願いを踏まえて売り上げを高めるようにどんな工夫をしているか話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・スーパーマーケットが産地と家をつなぐ役割をしていることに気付かせる。

・買い物調べの際に作った地図を提示することで、スーパーマーケット以外の店についても目を向けさせ、いろいろな店の特徴を考えさせてもよい。（ショッピングモール、コンビニエンスストア、専門店など）

・他の店も産地と家をつなぐ役割を果たしていることにも気付かせる。

・見学・調査から分かった大切なポイント、これまで話し合ってきたこと、写真や表店の人の言葉、キャッチコピーなどを入れ、分かりやすく説得力のあるものにさせる。

・品質管理、安全性、適性な価格、エコを意識した取組や他地域とのつながりなど店の工夫についても考え、まとめさせる。

【評】見学・調査したことを基に、話し合ったことや考えたことをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・スーパーマーケットで働く人が、買い物をする人の願いに応える工夫をしていることに目を向けさせ、説明させるようにする。

【 備 考 】